

超高齢社会における歯科医療を再考する

講師

今井 裕先生



獨協医科大学医学部口腔外科講座 主任教授

日本歯科医学会副会長

(公) 日本口腔外科学会常任理事

(一社) 日本有病者歯科医療学会理事長

超高齢社会は世界に類をみないほどのスピードで進み、すでに65歳以上の人口割合は全人口の1/4に達し、近い将来には30%を超すと言われています。そして、この人口構造の変遷は疾病構造を複雑化し、医療を取り巻く環境に大きな変化をもたらしています。歯科においても、受診する患者の高齢化が進み、日常の歯科診療で全身的になんらかの配慮が必要となる基礎疾患を有した(いわゆる有病者)患者の占める割合が増加するという、医療環境の変化がみられています。

従来、高齢者の歯科治療は有病率が高いことに加え、その身体的特徴として、1)予備力の低下、2)内部環境の恒常性維持機能の低下、3)診断の基準となる症状や徴候がはっきりしない、などの理由から、特殊な治療体系(有病者歯科医療)として捉えられ、大学病院や病院歯科にて対応されてきました。しかし、これからの人口動態と疾病構造を考えると、従来の医療システムでは超高齢社会における歯科医療に対応することは困難で、国民に対し十分な責任を果たすことが出来なくなることは明白です。

厚労省によれば、将来の歯科治療は、従来の健常者型から高齢者型へ需要が変換し、加齢による全身的ならびに口腔内変化に基づいたもので、歯の形態の回復のみならず口腔機能の回復を目指す、難易度の高いかつハイリスク患者が増加すると想定し、すでにモデル作りを開始しています。

いずれにしましても、歯科医師はこのように現在進行中である社会的変化に対し、自らが自らの問題としての的確に対応することが必要で、喫緊の課題のひとつであると考えます。そこで、今回の講演では、現在の歯科医療における問題点を具体的に提起し、「今、われわれ歯科医師はどうあるべきか」を先生方と共に再考したいと考えています。

御略歴	1973年	神奈川歯科大学歯学部卒業
	同年	千葉大学医学部 歯科口腔外科 入局
	1985年	学位(医学博士)取得(千葉大学)
	同年	千葉大学医学部 歯科口腔外科学講座 講師
	1988年	獨協医科大学 口腔外科学講座 講師
	1995年	獨協医科大学 口腔外科学講座 助教授
	2003年	獨協医科大学 口腔外科学講座 主任教授
	2011年	日本口腔外科学会 常任理事 日本有病者歯科医療学会 常任理事
	2013年	日本有病者歯科医療学会 理事長 日本歯科医学会 副会長 日本口腔外科学会指導医 日本顎顔面インプラント学会指導医 日本有病者歯科医療学会指導医 がん治療暫定教育医(歯科口腔外科)

開催日時	平成25年 11月10日（日） 15時～17時	会場	鶴見大学 記念館 2階 第1講堂
受講料	会員	鶴見大学歯学部同窓会 神奈川県支部 会員及び本学職員・研修医は無料です。	
	非会員	講演会会費5000円	

◆お申し込み方法 申込用紙にご記入・切り離しの上、FAX:045-544-9469までお申ください。
締切 11月2日(土)

◆お問い合わせ先 学術担当理事 荒谷 和弘 あらや歯科医院 045-544-9696



学術講演会申込書

ご氏名			
勤務先 (所属・学年)	Mail :		
ご住所	〒		
送信先	FAX:045-544-9469	mail:	implantoip@ybb.ne.jp